

会議顛末書

						記録者	副主査 堀内 紗矢香		
供 覧	市 長	副 市 長	部 長	次 長	課 長	課長補佐	主 査	査 長	グループ員
件 名	令和 8 年度第 3 回次長会議								
年 月 日	令和 8 年 7 月 27 日（月）								
時 間	午前 9 時 00 分～午前 11 時 15 分								
場 所	3 階庁議室								
欠 席 者	飯田次長								
内 容	【付議事項】 1 龍ヶ崎市第 4 次健康増進・食育計画（案）策定について 資料に基づき健康増進課から説明 《主な意見・質疑等》 ・ 計画期間について、現計画が 4 年間のところ、第 4 次計画を 10 年間とした理由について、対外的に説明できるようにしていただきたい。 ・ 計画策定にあたって実施したアンケートの最多回答層が 75 歳～79 歳となっており、高齢者層に偏りが見られる。市内の企業や団体と連携を図り、働き盛りの世代の実情も把握しながら、バランス良く多様な世代の声を施策に反映させていただきたい。 ・ 第 4 次計画においては、どのような点を中心に見直しを行うのか。 → 現計画の目標を継承することを基本に全体調整を図っていく。その中で、目標が達成できていない取組に力点を置いて取り組んでいくことを念頭に、基本方針を 5 つから 3 つに整理したいと考えている。 ・ 循環器疾患有病率の低下や糖尿病有病率の低下を目標に掲げているが、市としてどのような事業を実施したら有病率の低下を実現することができると考えるか。 → 国保加入者にはなるが、医療機関での受診が必要な方への個別訪問や受診勧奨、糖尿病予防教室などを実施しており、そのような取組を通じて有病率の低下を目指していきたい。 ・ 生活習慣の改善を目標に掲げているが、新規事業を検討しているのか。 → 生活習慣の改善にあたっては、新規事業の立ち上げではなく、健診を受診していただくことが基本的な取組となるため、引き続き受診率の向上を目指していきたい。 ・ 計画の策定にあたっては、企画課で策定を進めている後期基本計画と齟齬が生じないよう、連携を図っていただきたい。 2 令和 7 年度デジタル田園都市国家構想交付金（旧制度）活用実績報告について 資料に基づきスポーツ推進課から説明 《主な意見・質疑等》 ・ KPI として「地域の人口・世帯数」が設定されているが、これは必須項目なのか。 → 本市は、国の交付金申請の際にまちづくり分野を選択しているため、本 KPI								

の設定は必須である。

3 観光物産センターの運営について

資料に基づき商工観光課から説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 観光物産センターの売上の一部は財団に入っているのか。
→ 財団には入っていない。市には売上の 15 パーセント、例年約 40 万円が入っており、それによって賃借料や光熱水費の一部を賄っている。
- ・ 観光物産センターの利用者の市内と市外の割合はどうか。
→ 市内・市外の割合は把握していない。外国の方については年間 10 名程度の利用があり、日常的な買い物で利用している印象である。
- ・ 近隣市町村における観光物産センターの運営母体はどこか。
→ 観光や交通の事業を行っている事業者が多い。
- ・ 観光物産センターの必要性や立地、市のにぎわい創出への寄与など、施設のあり方も含め運営方法をどうするのか検討していくことが望ましい。今後意思決定を進めていく中で、こういった点も求められることが想定されるため、説明できるようにしておいていただきたい。
- ・ 開館時間の変更については、利用者への影響も踏まえ、慎重に検討していただきたい。

4 農業公園豊作村及び龍ヶ岡市民農園に関する管理運営（案）について

資料に基づき農業政策課から説明

《主な意見・質疑等》

- ・ 市として指定管理施設の導入を推進している中で、それ以外を選択するのであれば相応の理由が必要である。直営で運営していく場合、まずは最低限の人員配置でスタートし、必要に応じて増員していくことが望ましい。
- ・ 今後の方針の中に、「学校給食などへの地元農産物活用の取組」という表記があるが、地元農産物は数を集めるのが難しいとの話もあるなかで、実現できそうなものが具体的にあるのか。
→ 現状、このような取組みが実施できていないので、実施していきたいという想いから記載したところである。

5 消防団費用負担の見直しについて

資料に基づき防災安全課から説明

《主な意見・質疑等》

- ・ なぜこの時期に見直しを行うのか。
→ 平成 27 年以降、消防団の機動力を重視して計画的に車両の購入を行ってきたところである。当初の予定では、車両の購入が令和 9 年度までかかる見込みであったが、消防団の合併や廃部などにより、当初の予定より早く車両の購入が完了し今後大きな支出が見込まれないことから、消防団の持続可能性を考慮し、このタイミングでの見直しとなった。
- ・ CD-I 型消防自動車は、20 年かけて昨年度に更新が完了したと思われるが、今後また 20 年かけて更新するのか。
→ メーカーは、15～20 年での見直しを推奨しているので、早くて 10 年後に新たな更新計画を策定することになると考えられる。

	6 龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030 後期基本計画の策定について 資料に基づき企画課から説明 《主な意見・質疑等》 ・ 今後控えている最上位計画策定審議会や全員協議会、市民懇談会などもこの資料を用いて説明していくのか。 → 今後も様々な意見を反映させながら計画案の作成を進めていくことになるため変わっていく部分はあるが、審議会等は基本的にこの資料で説明する。市民懇談会については、PowerPoint などを用いて資料を整理した上で説明する予定である。 【その他】 特になし。		
要 措 置 事 項			
情 報 公 開	公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	
		公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）	